第18講　【近代編】第一次世界大戦とヴェルサイユ体制

PART5 戦間期の東アジア

Chapter 1　戦間期の日本と東アジアの民族運動

目標　戦間期前半の日本でどのような社会潮流がおこったのかを学ぼう。
民族自決の広がりを受け，朝鮮や中国で発生した運動を確認しよう。

1　日本の台頭と大正デモクラシー

1915年　第一次世界大戦の影響で需要が増大，好景気が発生し，大戦景気を迎える

1915年　中国に〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を行う

※山東省の旧ドイツ利権の日本への譲渡などを求める。

1918年　列強の**対ソ干渉戦争**〔　　　　　　　　　　　　〕に参加

※他国の撤退後も日本のみ1922年まで出兵する。

1918年　米不足により米価が高騰，〔　　　　　　〕がおこる

→寺内正毅内閣が責任を取って総辞職

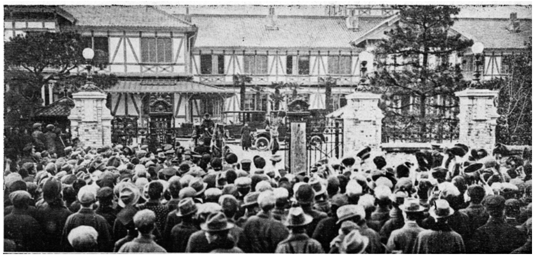
1918年　**原敬**を首相とする，日本初の本格的な〔　　　　　　　〕が成立

1910年～20年代　民主主義・自由主義的風潮が高まり，社会運動が盛んになる（**大正デモクラシー**）

1925年　25歳以上の男性に選挙権を認める〔　　　　　　　　〕が成立

1925年　社会運動弾圧法の〔　　　　　　　　　　〕が成立

1927年～28年　北伐から日本人を保護する名目で3度山東省へ軍隊派遣（**山東出兵**）



大正デモクラシー

2　朝鮮半島の情勢

1910年　日本が韓国を併合，植民地とする（**韓国併合**）

※以後，**朝鮮総督府**が武断政治（武力による政治）を実施。

→土地調査事業によって広大な土地を没収，その結果，多くの農民が困窮

1919 年　日本の植民地支配に対して〔　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※民族自決の原則に影響を受けた朝鮮民衆が,「独立万歳」と叫んでデモを行う。

→日本は運動を武力で鎮圧後,〔　　　　　　　　〕(同化政策)に方針転換

1919 年　李承晩を首班として,上海に〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を樹立

3　モンゴルの社会主義化

1911 年　辛亥革命勃発を機に,外モンゴルが中華民国からの独立を宣言

1921 年　**モンゴル人民党**が,ロシアの赤軍などの支援を得て中国軍を撃退

※革命家の**チョイバルサン**らが創設,のちに**モンゴル人民革命党**と改称。

1924 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を建国

※ソ連に次ぐ史上２番目の社会主義共和国となる。

4　中国の文学革命と反帝国主義運動

辛亥革命以降,中国の文化を改革して新たな中国をつくろうとする**新文化運動**が広まり,〔　　　　　　　　〕がおこる。

1915 年　〔　　　　　　〕らが雑誌『**新青年**』を創刊

1917 年　〔　　　　〕が『新青年』で,口語で文章を書く**白話文学**を提唱

1918 年　〔　　　　〕が『新青年』に白話小説『**狂人日記**』を発表

※魯迅は『**阿 Q 正伝**』なども著して中国近代文学の基礎を築く。

1918 年　〔　　　　　　〕が**北京大学**教授となり,マルクス主義を紹介

1919 年　**パリ講和会議**に第一次世界大戦の戦勝国として参加

※**二十一カ条の要求**の取り消しや不平等条約改正を訴える。

→ヴェルサイユ条約で,山東省の旧ドイツ利権の日本への譲渡が決定

1919 年　５月４日,〔　　　　　　　　　　〕がおこる

※労働者や学生による反帝国主義運動で,全国に拡大した。

1919 年　北京政府が**ヴェルサイユ条約調印を拒否**

まとめ　日本では大正デモクラシーの潮流がおこり,民主主義が進展した。
朝鮮では三・一独立運動が,中国では五・四運動が発生し,反帝国主義運動が高揚した。

Chapter 2　中国国民党と北伐の完成

目標
孫文がソ連や共産党とどのような関係を結んだのかをおさえよう。
蔣介石による北伐完成の経緯を理解しよう。

1　中国国民党と中国共産党

1919 年　**孫文**を中心に上海で〔　　　　　　　　　　〕（中華革命党を改組）が成立

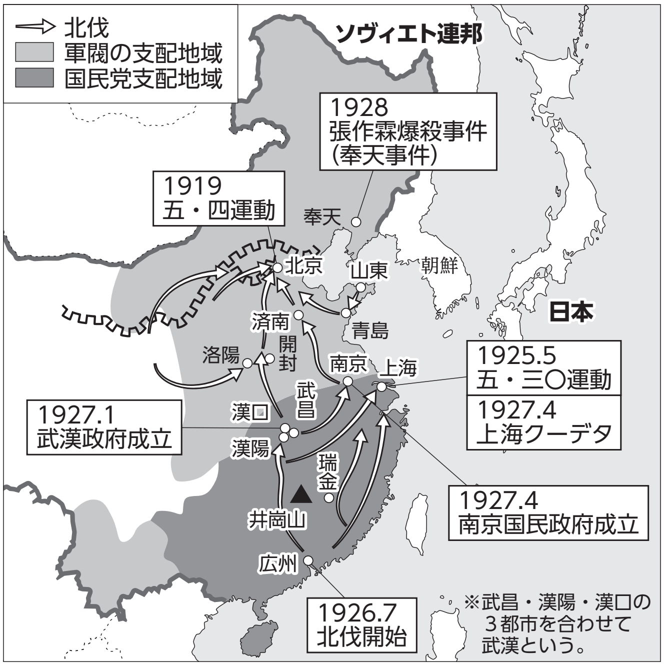
1921 年　**陳独秀**らの呼びかけで〔　　　　　　　　　　〕が成立

1924 年　国民党が第 1 回党大会を開催

※「〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕」（ソ連と連携し，共産党を容認し，労働者・農民を支援する）の方針を決定。

→**国民党**と**共産党**の協力関係が成立〔　　　　　　　　　　　　〕

2　北伐のはじまりと共産党の弾圧



北伐に関連する事件・都市

1925 年　孫文が死去。以後，〔　　　　　　〕が国民革命軍の指導者になる

1925 年　5 月 30 日，共産党の指導で〔　　　　　　　　　　〕がおこる

※全国的な反帝国主義運動に発展すると，国民党と蔣介石の不信感をあおる。

1925 年　国民党が広州に〔　　　　　　　　　〕を樹立

1926 年　**蔣介石**率いる国民革命軍が〔　　　　　〕を開始

※中国統一を目指す国民革命軍が，北部の軍閥を打倒するために行った軍事行動。

1927 年　共産党・汪兆銘など国民党左派が，**武漢政府**を樹立

※国民党右派と共産党・国民党左派の主導権争いが激化。

1927 年　蔣介石が〔　　　　　　　　　　　　〕をおこして，共産党を弾圧

※共産党の勢力拡大を警戒して共産党員らを虐殺。北伐も一時中断。

1927 年　蔣介石が国民党内を統一して〔　　　　　　　　　　　　〕を樹立

→第一次国共合作崩壊（**国共分裂**）

3　奉天軍閥と北伐の完成

1928 年　北伐を再開。**山東出兵**を行っていた日本軍と国民革命軍が済南で衝突（済南事件）

→国民革命軍は迂回して北京に向かい，**奉天軍閥**を撃破

1928 年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕（奉天事件）がおこる

※日本の関東軍が中国東北部での権益を守るため，奉天軍閥の首領**張作霖**の列車を爆破，殺害する。

1928 年　張作霖の子で軍人の〔　　　　　　〕が国民政府支持を表明

→国民政府が中国を統一（北伐の完成）

4　共産党と中華ソヴィエト共和国臨時政府

1927 年　〔　　　　　　　〕率いる共産党軍（**紅軍**）が**井崗山**を根拠地とする

1931 年　共産党が，江西省の**瑞金**を首都として

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を樹立

→国民党軍に包囲されて敗退

まとめ

孫文は国民党のスローガンに「連ソ・容共・扶助工農」を掲げ，共産党との第一次国共合作を成立させた。

蔣介石は共産党を打倒しながら北伐運動を進め，奉天軍閥の張学良が帰順し，北伐が完成した。

第18講　PART5　確認問題

1 日本で初めて本格的な政党内閣を組織した人物はだれか。

①　伊藤博文　　②　寺内正毅
③　原敬　　④　大隈重信

2 日本の植民地支配に対して，1919 年に朝鮮でおこった独立運動はどれか。

①　義兵運動　　②　三・一独立運動
③　五・四運動　　④　五・三〇運動

3 雑誌『新青年』で白話文学を提唱し，文学革命の口火を切った人物はだれか。

①　陳独秀　　②　梁啓超
③　李大釗　　④　胡適

4 中国近代文学の基礎を築くきっかけとなった，魯迅の小説はどれか。

①　『紅楼夢』　　②　『狂人日記』
③　『阿 Q 正伝』　　④　『金瓶梅』

5 日系紡績工場の労働争議から発展した，1925年の反帝国主義運動はどれか。

① 上海クーデタ　② 五・四運動
③ 済南事件　④ 五・三〇運動

6 1927年に国民党内を統一して南京国民政府を樹立した人物はだれか。

① 蔣介石　② 汪兆銘
③ 李承晩　④ 袁世凱

7 奉天軍閥の首領である父の死後，国民政府支持を表明した人物はだれか。

① 張作霖　② 趙匡胤
③ 張学良　④ 張居正

8 1931年に共産党が瑞金を首都として樹立した政府はどれか。

① 中華ソヴィエト共和国臨時政府　② 冀東防共自治政府
③ 武漢国民政府　④ 中華民国政府

第 18 講　PART5　確認問題 解答

1 解答：③　**原敬**は，1918 年に日本初の本格的な政党内閣を組閣した。

2 解答：②　1919 年 3 月 1 日，日本の植民地支配に対して朝鮮で独立運動がおこった。これを**三・一独立運動**という。

3 解答：④　**胡適**は，雑誌『新青年』に「文学改良芻議」を発表して，口語で文章を書く白話文学を提唱した。

4 解答：②　1918 年に『新青年』に掲載された魯迅の小説『**狂人日記**』は，白話文学を最初に実践した作品とされ，中国近代文学の基礎を築いた。

5 解答：④　1925 年，上海の日系紡績工場でおこった労働争議をきっかけに，反帝国主義運動に発展した。これを**五・三〇運動**という。

6 解答：①　**蔣介石**は，1927 年に南京に国民党が主導する国民政府を建てた。

7 解答：③　奉天軍閥の首領張作霖が日本の関東軍によって殺害されると，その子で軍人の**張学良**は，1928 年国民政府支持を表明した。

8 解答：①　共産党は，瑞金を首都として**中華ソヴィエト共和国臨時政府**を樹立した。